

NHKエンタープライズ

2024年度 事業計画

基本方針

新たな中期経営計画の初年度となる2024年度、前年の受信料値下げやBS波削減を受けたNHK委託減少の影響は大きく、NEPはこれまでとは次元の異なる厳しい経営環境に直面していくこととなります。このかつてない減収局面においても持続可能な経営基盤を築くため策定した、中期経営計画の最大のポイントが「展開の強化」です。

展開の起点となる、世界にも通用する魅力的なコンテンツを生み出すこと。NEP自らもコンテンツのIP（知的財産）を確保するとともに、NHKグループのIPを幅広く展開してNHKに財政貢献すること。そして制作と展開の進化を支える体制を全社でしっかりと築き上げること。これらの高い目標に向かってNEPが培ってきた制作と展開の力を結集して挑み、「真のコンテンツ総合企業」として生まれ変わらなくてはなりません。

「Enterprises for All！ 冒険、創造、貢献。社会のために、すべての人のために！」。
今こそこの経営理念を全社員が胸に刻み、中期経営計画の重点項目を着実に実行していきます。

重点施策と行動計画

1. NHKが追求する公共的価値をより多くの人々に伝える、 多彩で上質なコンテンツを適切な資源管理のもと制作する

- 幅広い世代に訴求するNHKのフラッグシップとなる番組を開発することを目指し、部署を越えた企画開発のシステムを構築するなど、社員の企画力・制作力強化を進めます。
- NHKが求める多角的で信頼できる情報の発信、上質で世界水準のコンテンツの制作、デジタルサービスの充実などに注力し、コンテンツの多様性に寄与します。
- 放送100年で蓄積されてきたNHKアーカイブスの社会還元を進めるため、これまで以上に迅速で効率的な権利処理に取り組みます。NEPレストアサービスで4K高画質化した映像を使った番組・イベントを増やし、映像資産の価値を広く伝えていきます。

2. NHKコンテンツの価値を国内外に発信するため展開事業を強化し、 副次収入を増やしてNHKへの財政貢献を果たす

- アニメやドラマをはじめ、あらゆるジャンルでNHKコンテンツの展開を強化し、NHKブランドを世界に発信します。貴重な資源を有効活用することで、副次収入を増やしNHKへの財政貢献を実現します。ライセンス・法務・経理など展開を支えるバックオフィスも組織改正などを通じて整備します。
- 国内外の制作者と連携して新しいコンテンツや演出の開発に努めるとともに、デジタル技術や撮影・映像処理などの分野で外部の最先端企業との共創を積極的に行い、新たな表現手法を開拓し、映像業界全体の発展にも寄与することを目指します。

3. NHK委託が減少する中でも持続可能な経営基盤を維持するため、 適切な営業利益を確保する

- 上記に全社で取り組むとともに、NHKグループとしてふさわしい自主事業を開拓し、NEP独自のIPの確保と展開も強化し、より持続可能な経営基盤を確立します。
- 管理会計による、事業ごと部門ごとの変動費の管理や固定費の削減などを通じて、原価の管理を不断に行いながら、事業計画の売上高・営業利益・当期純利益を達成し、関連事業持株会社への適正な配当原資を確保します。

4. 地域においてNHKのコンテンツの発信やサービスの展開を合理的コストで行い、コンテンツの接触率やNHKの存在感を高め、受信料制度の理解促進に貢献する

- ・全国7つの支社が拠点局・域内局と連携して、防災・減災をはじめ地域に役立つ情報を発信し、NHKグループの一員として必要不可欠なサービスを届け、地域におけるNHKへの信頼度を高めます。
- ・地域番組を核にイベントやデジタルに展開・連動した取り組みを強化し、NHKコンテンツの価値の最大化を追求します。特に若年層やNHK非接触層を対象とする事業を積極的に実施して、受信料制度の理解促進に貢献します。

5. コンプライアンスの遵守と内部統制の強化に努め、全社員が企業倫理を重んじて社会の信頼に応える

- ・労働基準法・個人情報保護法・下請法など法令の遵守を徹底します。全ての業務を適正に進めるため、社員一人一人がルールとリスクをよく認識し、多様な働き方や新規事業に対応したリスクマネジメントを実践します。
- ・当社が認証を受けている「ISMS運営の基本方針」に基づき、巧妙化するサイバー攻撃などのリスクに対応して、情報セキュリティーの一層の向上に努めます。

6. 多様性を尊重する経営を進め、一人一人の人材が事業で社会に貢献できるスキルを育成する

- ・年間の業務を通じて行う考課の仕組みを人材育成サイクルとして機能させ、社員の自律と成長を促します。社員が経験・情報を共有して高め合う場や勉強会を増やし、スキルの底上げと事業の高度化を進めます。
- ・AIを活用した「手話CG」の高度化と多言語への対応を進め、NHKでの更なる活用に加え、国際イベントや自治体、公共交通機関での利用を進め、社会に貢献します。
- ・人権やジェンダーなどについて社員の知見を高め、NEPの仕事に関わる全ての人が個性と能力を発揮できる環境の整備に努めます。

収支計画・予算

(単位 億円)

売上高	営業利益	当期純利益
613.1	30.6	21.7